

〔理事会第2号議案〕承認済み

認定工場数・認定数量の拡大について

令和6年5月22日
一般社団法人 日本冷凍食品協会
理事会

当協会では、昭和45年(1970年)に冷凍食品認定制度を創設し、長年にわたり、冷凍食品工場の品質・衛生管理水準の向上に貢献してきました。この認定制度は、一定の品質・衛生管理水準に達した工場を認定し、その工場(認定工場)で生産した冷凍食品には認定証を貼付することができることとしています。認定証は、長年、消費者の皆様にとって信頼の証としての役割を果たしてきています。

認定制度創設以来、数度にわたり制度改正し、国際的な認証制度や HACCP との整合、認定基準の高度化などを行ってきましたが、昨年度末の改正では、認定証デザインの改定や工場支援の強化などによって認定制度の社会的価値をより一層高めることとしたほか、6 年度事業計画では、認定制度・認定証の認知度を高めるための広報活動を強化することとしています。

一方、認定工場数は漸減しており、認定証を貼付した生産数量(認定数量)も横ばいないし微減となっています。なお、協会会員の冷凍食品生産量に占める認定数量の割合は4割強とみられます。

今後とも、認定制度・認定証に対する信頼の維持・向上のためには、認定工場数・認定数量の拡大が不可欠であり、会員各位のご協力をお願いする次第です。つきましては、特に以下の3点について、ご配慮いただくようお願い申し上げます。

1. 冷凍食品を自社生産する場合、家庭用、業務用を問わず、認定工場での生産とするよう努める。認定工場でない場合は、認定工場の資格取得に努める。
2. 冷凍食品生産を外部委託する場合、認定工場での委託とするよう努める。認定工場でない場合は、認定工場の資格を取得するように推奨する。
3. 認定工場で生産する冷凍食品に認定証を貼付していない場合は、貼付するよう努める。